

令和2年12月8日

松山短期大学  
学生の皆さまへ

松山短期大学  
学長 溝上達也

年末年始などの「季節の行事」における新型コロナウイルス感染防止策の徹底について

学生の皆さまにおかれては、日頃から新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に取り組まれていることにあらためて敬意を表します。

さて、年末年始を迎えるこれからの時期においては、催物の主催者が存在しない中で、多数の人が集まる「季節の行事(クリスマス、大晦日、初日の出など)」が増えてきますが、このような季節の行事では、適切な対人距離の確保等を管理する主催者が存在しない等の理由から、安全な行事開催ができなくなる場合も想定され、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まることが懸念されております。

11月20日に愛媛県は新型コロナウイルス対策の警戒レベルを「感染縮小期」から「感染警戒期」に移行しました。首都圏や関西圏等の大都市から地方に波及してきた感染拡大の波は愛媛県にも押し寄せ、連日、感染者が確認されています。全国でも毎日2,000人を超える新たな感染者が確認されており、北海道、首都圏、関西圏などで新型コロナウイルスの感染者の増加傾向が鮮明となっています。

このような状況を踏まえ、下記の「季節の行事における感染防止策」に十分留意し、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策に取り組むようお願いいたします。

また、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会からの提言「感染リスクが高まる5つの場面」及び「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」などを参考に、「5つの場面」や感染リスクの具体的な状況を十分に意識して行動してください。

■**季節の行事における感染防止策の徹底**■

- ・多数の人が集まる季節の行事に参加される場合には、対人距離の確保、手洗い消毒、マスク着用、大声での会話の自粛、三密防止など、**基本的な感染防止策を徹底すること**。
- ・**基本的な感染防止策が徹底されていない季節の行事への参加は控えること**。特に、自然発生的に不特定多数の人が密集し、かつ、大声等の発生を伴う行事、パーティ等への参加は控えること。
- ・街頭や飲食店での大量または長時間・深夜にわたる飲酒や、**飲酒しての行事への参加は、なるべく控えること**。
- ・必要に応じて、家族同士で自宅で過ごす、オンラインのイベントに参加するなど、**新しい季節の行事の楽しみ方を検討すること**。

また、今後の季節性インフルエンザの流行に備えて、インフルエンザワクチンを接種するかどうか検討してみてください。

以上